



## 柔道の技術、理論学ぶ 豊橋で指導会

柔道指導者や小中学生を対象にした柔道指導会が13日、豊橋市武道館で開かれ、約240人が参加した。熟練講師陣から柔道に取り組む心構えや技術、理論を学んだ。

講師は、愛知県がんセンター総長で、全日本柔道連盟医科学委員会副委員長の小村雄次氏(講道館柔道六段)と愛知県柔道連盟強化委員長の高濱久和氏(同八段)。柔道を理論と実践両面から指導

二村氏の講義では、柔道で学んだ、「負けず魂」のおかげで医者になれたことなどを話し、子どもたちにも文武両道を勧めた。実技指導では「寝技は練習すれば必ずうまくなる」とし、寝技のコツを伝授した。何人かの児童、生徒の相手の相手に

二村氏に直接指導を受けた南陽中柔道部1年の坂柳竜哉君は「手の使い方や足のかけ方など、わからなかったことを教えてもらった。練習してできるようにしたい」と感想を話していた。



二村氏(左)と高濱氏(右)が寝技の講義をする。二村氏はマイクを持ち、高濱氏は寝技の講義をする。